

社会安全研究科【博士課程前期課程】 カリキュラムツリー

DP1 (知識・技能)

安全・安心な社会を創造するために現状を複眼的に分析とともに、既存の理論を継承・発展させて新しい理論を創造するために必要な高度な専門的知識を活用することができる。

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

災害や事故のリスクを理工学的な視点から定量的に評価するだけでなく、社会科学的な視点からの定性的な評価を加えることによってリスクをより総合的に評価できる手法を開発するとともに、高度な「考動力」を發揮して安全・安心な社会を実現するための政策を提言・立案できる実践的かつ専門的な能力を有する。

DP3 (主体的な態度)

社会安全分野に関する様々な情報に目を配り、課題を発見するとともに、課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。

博士課程前期課程
1年次
2年次

【人間システム系】

- ・安全の思想
- ・災害心理学特論
- ・災害復旧・復興特論
- ・災害情報特論
- ・安全教育特論
- ・ヒューマンエラー特論
- ・リスクコミュニケーション特論
- ・労働安全衛生特論

【社会システム系】

- ・行政法特論
- ・消防防災行政特論
- ・公衆衛生学特論
- ・災害経済学特論
- ・リスクマネジメント特論
- ・損害保険特論
- ・安全と法システム特論
- ・消費者安全法特論
- ・交通システム安全特論

【理工システム系】

- ・水災害特論
- ・地震減災特論
- ・耐震工学特論
- ・地盤災害特論
- ・都市安全計画特論
- ・社会減災政策論
- ・工学的安全システム特論
- ・安全設計特論
- ・工学システム解析
- ・情報セキュリティ特論
- ・応用データサイエンス特論

修士論文

- ・専攻演習ⅡA
- ・専攻演習ⅡB
- ・副指導演習ⅡA
- ・副指導演習ⅡB

- ・専攻演習ⅠA
- ・専攻演習ⅠB
- ・副指導演習ⅠA
- ・副指導演習ⅠB

社会安全研究科【博士課程後期課程】 カリキュラムツリー

DP1 (知識・技能)

安全・安心な社会を創造するために、現状を複眼的に分析とともに、既存の理論を継承・発展させて新しい理論を創造するために必要な卓越した専門的知識を有する。

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

社会安全分野において自立した研究遂行能力を備え、卓越した「考動力」を発揮して理論創造と政策提言を行うことができる。

DP3 (主体的な態度)

社会安全分野に関する様々な情報に目を配り、課題を発見するとともに、高い職業的倫理観のもと、課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。

博士課程後期課程



- 【人間システム系】
- ・リスクコミュニケーション研究
 - ・ヒューマンエラー研究
 - ・災害復旧・復興研究
 - ・災害心理研究
 - ・社会安全思想研究
 - ・災害情報研究
 - ・労働安全衛生研究

- 【社会システム系】
- ・リスクマネジメント研究
 - ・損害保険研究
 - ・企業関係法・CSR研究
 - ・行政法・政策法務研究
 - ・安全関連法研究
 - ・消防防災行政研究
 - ・公衆衛生研究
 - ・災害経済研究
 - ・公益事業と安全システム研究

- 【理工システム系】
- ・社会減災政策研究
 - ・工学安全システム研究
 - ・水防災研究
 - ・地震減災研究
 - ・耐震工学研究
 - ・地盤防災研究
 - ・都市防災研究
 - ・工学システム解析研究
 - ・安全設計研究
 - ・情報セキュリティ研究
 - ・応用データサイエンス研究

- 専攻演習IVA
専攻演習IVB
- 専攻演習III A
専攻演習III B

- ・Earthquake Engineering
- ・Geo-disaster
- ・Urban Disaster Mitigation
- ・Economics of Risk and Disaster
- ・Psychology of Disaster Risks
- ・Risk Management
- ・Disaster Reduction and Resilient Society
- ・Thermal-Fluid Engineering for Industrial Safety
- ・Injury Prevention Engineering for Safety Design

- Seminar IVA
Seminar IVB
- Seminar III A
Seminar III B